

平成20年11月12日

間伐ヒノキでそろばん・・・播州算盤工芸品組合

昨日、11/11（火）の神戸新聞夕刊の2ページ上部「ふるさと直行便」のコーナーに下記の記事が掲載されていました。多くの方がすでに記事を見られたとは思いますが、まだ見られていない方はぜひご覧ください。
記事の内容は下記の通りです。

《神戸新聞の記事内容》

播州算盤工芸品協同組合（小野市）と北はりま森林組合（多可町加美区）は、多可町で間伐したヒノキの圧縮素材を使ったそろばん作りを始めた。年内にも試作品を完成させる予定。ヒノキとそろばんの木工技術を活かした「マイはし」づくりも進め、「環境に優しい製品を増やしたい」と意気込んでいる。



同算盤組合は2006年度には箱根寄木細工（神奈川県）、2007年度には若狭塗（福井県）などと新商品を開発。だが遠距離が難題だった。本年度は地元産業とエコロジーにこだわった商品開発を検討。北播磨のヒノキ間伐材を圧縮し、硬度を高めて利用するアイデアを北はりま森林組合に提案し、5月ごろから連携が始まった。

そろばんの材料は、コクタンやツゲなど硬い高級木材が中心で、海外や国内の名産地から買い付けるのが一般的。「ヒノキ間伐材は考えてもみななかった」と同森林組合の藤田和則・事業課係長。約100本の角材を自然乾燥させ、9月下旬に6本が硬度を高める加工技術を持つ島根県の業者に送られた。試作品は播州算盤の伝統工芸士、宮本一廣さんらに製作を依頼する予定。来年2月の東京での商品展示会で全国発信したい考えだ。多可町産とは別の国産ヒノキの圧縮材で試しに作ったそろばんは、年輪の美しさや香りが特徴。たたくと「カンカン」と甲高い音が響く。

算盤組合の宮永英孝理事長曰く「今後も北播磨の特産品である杉原紙や播州織などと連携して新商品を作りたい」。

ヒノキのそろばんはいいですね・・・。
ヒノキの香りはリラックス効果があると言われています。
また抗菌・防ダニ効果もあるそうです。
ヒノキの香りで仕事も勉強もはかどるかもしれませんね。
せっかくの新たな製品ですから、そろばんのカラーやケースもこだわったものにして欲しいな、と思います。
外国の方には芸術品としての価値を訴えられればいいのですが・・・。
ヒノキで播州そろばんの工芸品としての価値が高まって欲しいものです。



過去一覧

過去の内容をご覧いただける方は左記のボタンをクリックして下さい。

多鹿会計事務所 所員 平戸

メール

お電話でのお問い合わせは平日午前9時～午後5時まで承っています。

多鹿会計事務所

〒675-1332 兵庫県小野市中町320-8 TEL 0794-62-5666 FAX 0794-64-2037

